



写真：小小交流の様子（説明は6ページ）

左から川西中学校区3校、ふれあいの丘支援学校と十日町小学校

巻頭言 『ゴール→再スタートに向けて』

指導管理主事 渡邊 正文

令和6年度も間もなくゴールを迎えようとしています。

今年度の春、そして冬と2回にわたり、各中学校区を訪問させていただきました。春の訪問では、各中学校区の取組についての計画づくりが、冬の訪問では今年度の成果と課題、次年度に向けての方向性が話し合われていました。話合の場面を見ると、同じ中学校区内の違う学校の教員同士で活発に話合が進んでいます。お互いの顔が見える関係というのはとてもいいものだと改めて実感することができました。私自身これまでの勤務を振り返っても、小中お互いに顔が見える関係の学校は、小中連携がうまくいっていたなあと思います。

平成26年度から完全実施となった十日町での小中一貫教育。それから10年の年月が経ち、ますます各中学校区での取組は充実し、またスムーズな運営がなされています。中学校区共通の「あいさつ運動」「学びのやくそく」「いじめ見逃しゼロスクール」などなど、もはや「当たり前」の取組と言えるでしょう。小学生が「中学校への進学を楽しみにしている」割合も非常に高い結果となっています。これからはその活動をさらに進め、小中連携だけでなく、幼保小中連携と一歩進めていくことが大切になります。9

年間を見通した教育課程の編成ではなく、幼保を含めた12年もしくは未満児からの15年間を見通した取組になろうかと思えます。これまでの活動がマンネリ化せず、さらに充実したものになることを期待しております。合わせて何よりも大事なものは、何のために小中一貫教育に取り組むかです。小中一貫教育そのものが目的にならないように、あくまでも十日町市の3つの教育課題である「学力向上、不登校・いじめの減少、特別支援教育の充実」のための手段であることを念頭に置き、十日町市の学校教育のめあてである「ふるさと十日町市を愛し、自立して社会で生きる子ども」の姿の実現のため、来る令和7年度の取組の推進を願っております。

小中一貫教育

■ 令和7年度小中一貫教育の全員研修について

十日町市の小中一貫教育は、目指す子どもの姿「ふるさと十日町市を愛し、自立して社会で生きる子ども」の実現に向けて、3つの課題（学力向上、不登校の減少、特別支援教育の充実）解決を目指して進められています。先生方には、日々熱心な取組をいただき感謝しています。令和6年の実践を拝見するとともに、取組評価の結果をまとめ、2度の計画訪問を終えて、そのことを肌で感じることができました。

令和7年度には、4月3日（木）に新任研修を兼ねた全員研修を、8月6日（水）に全員研修を実施します。

4月の研修は、人事異動によって、新たに十日町市に勤務される先生方がおられることを踏まえ、改めて小中一貫教育に対する理解を深めていただくために、小中一貫教育全般に関わる内容と「居心地のよい学級づくり支援事業」に関わる取組を柱に行います。

前半は、小中一貫教育の目的や現状及び令和7年度の実施計画を中心にお話します。特に令和7年度における重点を強調したいと考えています。

後半は、「居心地のよい学級づくり」を3年間進めてきた成果と課題や一層の深化した取組のポイントをお話します。教育委員会からのお話と伊佐貢一先生からご指導、川治小学校の実践発表を予定しています。

8月の研修は、学力向上についての講演を行います。市の広島派遣事業と重なり、参加できない先生方がおられることに申し訳なさを感じています。講師は、文部科学省初等中等局主任視学官の田村学先生です。子どもたちの資質・能力を育てるために「主体的、対話的で深い学び」とりわけ「深い学び」をどのように考え、どのように具現するかや子どもたちの主体的な学びを実現するための探究学習について講演していただく予定です。

田村先生からは、市内の先生方にぜひ見ていただきたいと、動画を公開していただきました。C4th の連絡掲示板でも紹介しましたから、ご覧になった方もいらっしゃると思いますが、改めてお知らせします。

皆様

田村です。日頃からお世話になっています。以下の動画が公開されました。可能でしたら広く拡散いただきますようお願いします。

【特別講座】 【テーマ】 これからの GIGA!!!教科の学びをどう深める!?

<https://youtu.be/lbvS65qEMo4>

文部科学省 初等中等局 主任視学官 田村 学

教育相談班より

■ 特別支援学級の適切な教育課程の編成を！

特別支援学級在籍の児童生徒は、障がいによる学習上または生活の困難を改善・克服するとともに、授業内容が分かり学習活動に参加している実感や達成感をもてるよう、一人一人に必要な教育課程を編成する必要があります。その上で、通常の学級と同じ教育課程でできる学習においては、交流学級で学習を行うことができます。次年度の教育課程編成に向け、次の点を確認ください。



原則として、週の授業時数の半分以上を目安として特別支援学級で授業を行うこと。
特別支援学級での授業では、以下2点を確実にお願いします。

- ① 各教科の目標や内容を下学年ものに替えたり、知的障害特別支援学校の各教科等に替えたりするなど、児童生徒の実態に応じた教育課程を編成すること。
- ② 障がいによる学習上または生活上の困難を克服し自立を図るため、自立活動を取り入れること。

学習指導班より令和7年度 教育センター学習指導班事業について

令和7年度の事業の概略（3月10日現在）を示します。2月に各校の担当者にも説明しましたが、詳細は4月に「教育センター要覧」を配布しますので、それをご覧ください。

※「居心地のよい学級づくり」事業については、より確実に定着へと進みます。

<その他>

1 小学校外国語サポート訪問研修

長年取り組みました本研修は行いません。

2 幼保小の連携に係る研修

一覧表にはありませんが、令和7年度では幼保小合同研修会を実施します。

<小中一貫教育に係る事業で行わない内容>

1 「自己有用感」に関する報告は、今年度と同様に行いません。

2 各中学校区で作成していた「教科の9年間の学習系統図」「心の教育の系統図」「総合学習等の系統図」の提出は求めません。各中学校区で必要に応じて、活用したり、修正したりしてください。

<ICT関連の研修>

令和7年度は引き続きロイロノートの基本的な研修や指導者用デジタル教科書、学習者用デジタル教科書の研究や研修に力を入れていきます。

1 主要事業「居心地のよい学級づくり」支援事業 ・ 指導力向上事業

名称	対象	内容
(1) WEBQU	小学校＝1年～6年	年2回のWEBQUを市内全小1～中3で実施します。また、それぞれ実施後に事例検討会を実施し、学級づくり・授業づくりを全職員で推進します。
(2) 事例検討会	中学校＝全学年	学級づくりスタンダードプランの確実な実践
(3) 学級づくりスタンダードプランの確実な実践	学級担任・学年部・全職員	学級づくりスタンダードプランの実践や修正・記録を行い、持続可能な取組を進めます。学級目標や学級イメージは5月中旬頃には入力ください。
(4) アドバイザーによる学校訪問（学校訪問①）	要請訪問	希望のある学校の要請により、アドバイザーを派遣します。
(5) 市教育センター学校訪問（学校訪問②）	各中学校	主体的・対話的で深い学びのある授業について参観し、事業担当者・校内推進員・指導主事で情報交換を行います。
(6) 研修・打合せ ①小中一貫全員研修会	全教職員	事業の趣旨や共通の目標を説明します。学校を代表して実践例を紹介してもらいます。
(6) 研修・打合せ ②WEBQU研修会	新規校内推進員・新採用職員・転入職員等 校長研修会	WEBQUに初めて触れる教員を対象に、WEBQUの見方等を研修します。 校長を対象に、次の3年を見据え学校が丸となって取り組むため、WEBQUの学校DATAの見方やその活用方法などについて理解を深める研修を行います。
(6) 研修・打合せ ③担当との打合せ	事業担当者あるいは校内推進員（15：00～16：30を予定）	・各校の実践発表と共有（NRTの結果も含む） ※実践例報告 ・「居心地のよい学級づくり」の成果について ・次年度の事業について
学校訪問	要請する学校、各団体（郡市教振等）	要請に基づいて訪問し、学力向上や授業改善、校内研修等にかかわる指導・支援を行います。
中越事務所：重点教科訪問	中越教育事務所の計画による。	中越教育事務所の重点教科訪問は「社会と理科」で実施予定です。教育センターは、事務所と連携を図りながら授業改善や学力向上への取組を支援します。
キャリアアップ研修	サポート訪問研修 原則として教職10年未満の教員（教諭、講師、助教諭等を含む。2年目教員を優先）	市内小学校に勤務する教員の個人研修や校内研修の支援等ととして、教員一人一人の指導力の向上を図るとともに、学校全体の教育力を高めます。
ミニ講座	中学校教科担当者会議（国・社・数・理）	中学校教員の指導力向上をねらいとし、各教科の授業づくりの研修を行います。情報交換や資料の共有を進めます。（理科は、理科センターの計画による）
エキスパート教員研修	希望する全職員	小学校・小学部教員のサポート訪問研修受講者 中学校教員の教材研究や授業公開の場を、ミニ講座として提供します。出前講座（要請訪問）としても受け付けます。
ICT活用授業研修	全員研修会「ICT活用」 新任転任教職員ロイロ研修 ロイロノート研修	ICT活用方針とネットワークの基本を説明します。 「ロイロノート」を授業等で活用するための基礎を学びます。 ロイロ社のオンライン研修で学びます。
ICT関係	中学校デジタル教科書研修（対面） ICTを活用した授業公開（対面）	指導者用デジタル教科書を中心にデジタル教科書の使い方を体験します。 ICTを有効に活用した「主体的・対話的で深い学び」のある授業を構想し、授業公開します（指導者用デジタル教科書は必須）。
専門職位研修	情報教育担当者会議 校務支援システムC4th研修	情報担当者 中心となって作業する者 ICT活用について情報共有し、指導・助言します。 成績処理・通知表・指導要録作成を学びます。学校情報配信アプリ等を学びます。年度更新作業を学びます。
その他	学力向上推進会議 読書活動推進事業 ①図書館教育担当者研修 ②図書館サミット 専科教員研修 初任者研修ボランティア体験研修（法定研修） 事務職員研修 新採用・若手事務職員研修	小・中学校研究主任（または学力向上担当者） 第2次「十日町市子ども読書推進計画」に基づき読書活動を推進します。 ①図書館教育担当者が集い、学校図書館運営実務についての研修を行います。 ②各校の図書館活用についての実践発表を行います。 理科専科を対象に、単元の指導計画と子どもの実態をもとに、教材及び主体的・対話的で深い学びのある授業づくりの検討 市立里山科学館「森の学校」キョロロでのボランティア活動を体験することにより、教員としての資質向上を図ります。 事務処理の実践力を高め、職務に対する使命感を醸成するとともに、専門的な知識を身に付けます。 新採用・若手事務職員の実践力を養い、専門的な知識技能を身に付けます。3年目までの事務職員が対象ですが、4～6年目の方も参加可能です。
その他	学力分析・情報提供 「ふるさと教材」活用事業 「大地の芸術祭」活用事業 小学校社会科副読本「わたしたちの十日町市」作成事業 ①「十日町市の学校教育」 ②「実践報告集」の作成 関係機関との連携	小・中学校（支援学校） 小5対象（中学生も使用可） 小・中・支援学校 小3・4年生 小・中・支援学校 理科教育センター、郡市教育振興会、郡市中学校教育研究会等と連携し、教員の指導力向上にかかわる支援を行います。

2 英語教育推進事業

名称	対象	内容
ALT学校派遣事業（ALT担当者会議）	小・中・支援学校（英語教育・ALT担当者）	各校の英語教育の推進の支援としてALTを派遣します。
イングリッシュキャンプ	小学5・6年生（希望）	小学生5・6年生を対象に、英語及び外国人にふれる機会を提供し、英語への興味関心やコミュニケーション能力を高めます。
カナダ・ビクトリア語学研修&ホームステイ体験	中学2年（2名募集予定）	中学2年生を対象に、カナダ・ビクトリアへの語学研修とホームステイ体験を募集します。選考検査（作文と面接）や事前研修も実施します。

学校教育課・教育センター事業のお知らせ ～4・5月～

日 時	内 容 ・ 会 場	備 考
4月 3日(木)	小中一貫教育全員研修会① オンラインでの開催	令和7年度「小中一貫教育～居心地のよい学級づくりについて～」
4月4日(金)	教育支援員研修会① 【川西庁舎】	講師:学校教育課 課長補佐・指導主事 対象:教育支援員(新規採用者のみ)
4月 10日(木)	小中一貫教育統括コーディネーター 及び校内コーディネーター研修	対象:中学校区の統括コーディネーター、 各校の校内コーディネーター
4月 11日(金)	就学支援・特別支援教育説明会 【千手コミセン】	説明:学校教育課 指導主事 他 対象:特別支援教育コーディネーター 通級指導教室担当教員
4月21日(月)	幼保小の連携に係る研修	対象:認定こども園・保育園、小学校、特別 支援学校の担当者(複数可)
4月22日(火)	情報担当者会	対象:情報担当者
5月14日(水)	WEBQU研修会(入門編)	新規校内推進員・新採用職員・転入職員等を対象にします。
5月 15日(木)	特別支援教育コーディネーター 研修養成講座	
5月15日(木)	エキスパート教員研修 講師:十日町小学校 徳井 孝介 教諭	小学校理科についての授業づくりについての研修です。
5月21日(水)	WEBQU研修会(校長研修)	校長先生を対象に、WEBQUの結果の見方と活かし方について研修します。
5月26日(月) ～6月6日(金)	WEBQU1回目の実施(～6月6日まで)	実施後、各校で事例検討会を実施する。
5月 28日(水)	生徒指導研修会①(いじめ)【川西庁舎】	講師:中越教育事務所 指導主事(予定) 対象:管理職及び生徒指導担当者
5月29日(木)	サポート訪問開講式・川西庁舎4階 第1研修室	サポート訪問に申込された先生を対象にします。

【表紙写真の説明】

川西中学校区では、千手小学校、上野小学校、橘小学校が定期的な交流を行っています。10月31日（木）には、千手小学校で、1年生と2年生の交流活動が行われました。1年生は、体育館で体全体を使ったじゃんけんやじゃんけん列車を行いました。私もじゃんけん列車に参加させてもらい、ちょっと腰が痛くなりました。子どもたちは、互いに楽しそうに体を動かしていました。2年生は、3校の子ども達と一緒にグループを作り、多目的室でクリスマスビンゴなどをして交流を深めました。別れ際には、互いに「またねえ！」と元気よく手を振り合い、その姿と笑顔がとてもさわやかに映りました。

ふれあいの丘支援学校と十日町小学校は、同じ校舎内にあります。体育館やふれあい広場などの共有スペースがある他、教室も隣同士にあり、日常的な交流が行われています。運動会は「城ヶ丘ふれあいカーニバル」、文化祭は「城ヶ丘ふれあいフェスティバル」、児童会祭りは「ビッグフェスタ」として共に歴史を歴史を歩んできました。写真は、10月2日（水）に行われたふれあいの丘支援学校小学部と十日町小学校4年生との車いすバスケットボール体験を通じた交流の様子です。指導にいらっしゃった松永哲一さん(新潟県選抜車いすバスケットボール新潟WBCキャプテン)も2校の子ども達がごくあたりまえのように交流する様子を微笑みながら見ておられました。